

会議録

会議の名称	西東京市小中学校通学区域見直し等に関する保谷町・富士町・中町・東町地域協議会（第2回会議）
開催日時	平成23年8月18日（木曜日） 午前10時00分から午前11時36分まで
開催場所	西東京市立東小学校1階 多目的室
出席者	委員：幸内悦夫、野々山弥生、境野真澄、小嶋弘、斎藤五郎、諸岡浩、小室清美、高橋秀夫、川合眞理子、林祐司、大橋かおる、小林眞弓、小林咲子、矢野真一、山本かおる、金原英雄、下田清司、池澤隆史 事務局：櫻井勉（教育企画課長）、清水達美（教育企画課企画調整係長）、中村幸雄（教育企画課学務係長）、坂本義隆（教育企画課企画調整係主任）、山岡昇（教育企画課学務係主任）
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 配布資料の説明 4 意見交換等 5 次回の開催日程について 6 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市小中学校通学区域見直し等に関する保谷町・富士町・中町・東町地域協議会（第1回会議）会議録（案） 資料2 今後の就学状況の推計 資料3 現状の通学区域の課題・問題点 資料4 区域毎の就学児童予定者数
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○会長： 資料1として配布している前回第1回の会議録（案）について、何か訂正すべき箇所、お気づきの点などがあれば発言願いたい。（全体で会議録（案）の内容確認） 特に発言等も無い様なので（案）を取って、この内容を正式な会議録とさせていただく。</p> <p>議題3 配布資料の説明</p> <p>事務局より資料2から資料4までの説明（前段）</p> <p>○事務局：</p>	

配布資料の説明のうち前段の説明が終わったが、ここまでのところで質問等があれば発言願いたい。

○委員：

資料4の地図上丸印で示してあるものは、平成23年度入学の1年生から平成29年度まで入学の6学年の人数を示しているのか。

○事務局：

平成29年度時点のこの地域における1年生から6年生までの就学児童数（予定）であるので、平成24年度入学の1年生から対象となる。ただし、この数字については、学校選択制度や私立に通う児童数等は加味していない数字であるので、注意していただきたい。

○会長：

先ほどの説明の中で、東小学校の単学級の解消も視野に収めるという発言があったが、通学区域を修正した後の入学時から変更するというのではなく、現在通っている児童の転校も視野に収めて検討するという意味での説明だったのか。

○事務局：

今回検討を進めていただいている通学区域の見直しが施行される場合、平成25年4月1日以降に新しく入学する児童から対象となるため、現在既に小学校に通っている児童については対象にはならない。ただ、将来的に単学級になる可能性もあるため、将来の単学級化を防ぐことも視野に入れなければならないと考えている。

○委員：

資料3の中で、本町小学校については学校内に学童クラブがあるということが挙げられているが、保谷小学校にも学校の中に学童クラブがあるので、条件については保谷小学校も同じである。

○会長：

資料2の元になっている考え方について整理をしておきたいが、現在の1年生は“35人学級”にするということが決まったが、次年度以降はどうなるのか、法令についてはどのような決まりになっているのかを確認しておきたい。

○事務局：

法令については、まだ何も決まっていない状況である。ただ、文部科学省としては、小学校1年生と2年生、中学校1年生については“35人学級”にしたいというような意向が感じられる。

○会長：

別件になるが、予算状況の確認をしておきたい。本市の小学校・中学校の普通教室にエアコン設置を行う予定だったが、大震災の関係で工事を行っていないという状況があるのか。

○事務局：

現在のところは、行っていない状況である。

○副会長：

東小学校には特別支援学級があるが、資料2の数字については、こうした特別支援学級の児童数も織り込まれているのか。

○事務局：

資料2については、特別支援学級の児童数と教室数については考慮していない。そこまで考慮すると、検討を進める上で分かりづらくなるように思う。

○委員：

市情報公開コーナーで合併時の資料を見ていたところ、10年後の予測児童数が出ており、例えば碧山小学校については、平成23年度の数字について、予想とほぼ等しくなっていたが、本日の資料2によると平成29年度には碧山小学校だけ突出して伸びるように示されている。他の学校についても、10年前の予測数字とこれから10年の予測数字とで変わってはこないのか。

○事務局：

10年前の予測数字からあまり変わらない学校もあれば、相当数変わってきている学校もある。様々な要因で変わってくるため、その時の数字と乖離していくのはやむを得ないと思う。本日お示ししている数字は、現在この地域に住んでいる方から数字を導き出しているもので、平成29年度にかけて多少前後することはあると思うが、相当大きく乖離することはないと思う。

○委員：

学校は地域の学校という思いもあるので、地域性とか様々なことを考えた時にとっても複雑な心境になるが、その辺の考慮はどうなっているのか。

○事務局：

地域性のことについても考慮していきたいと思っているが、如何せん碧山小学校の教室数の問題でやむを得ない部分があるので、地域性を考慮していない訳ではないが、ある面ではそうせざるを得ない事情がある。

○委員：

前回の会議に出席したイメージでは、プロムナード東伏見の中が分断されるのとの認識でいたが、本日の資料4を見てみると、プロムナード東伏見以外も含めて線引きされているがどうなのか。

○事務局：

この線引きは参考であって、これからこの線引きをどうしていったら良いのかということはこの協議会の委員の皆さんで検討していただきたい。

○会長：

碧山小学校だけ他の学校よりも大きく児童数が増えるのは、やはりこのプロムナード東伏見からの通学者が多いからなのか。

○事務局：

かなり大きな影響を与えていると言えるが、それ以外にも、この地域には他の集合住宅や都営住宅などもあるため、この地域全体で見た結果である。

○委員：

都市計画道路3・2・6号線のトンネルがどこから出てくるのか分かっているのか。それによって、子どもたちが道路をどこで渡るのかが気になる。新青梅街道の付近はどうなのか。

○事務局：

新青梅街道とは地上平面で交差することになると思う。

事務局より資料2から資料4までの説明（後段）

○委員：

東小学校について資料2によれば、平成29年度には現在より2クラス増加することになっているが、その上で現在の碧山小学校の学区域の一部を東小学校の学区域にしまうと、全体で100人位が追加で入ってくることとなり、教室数が足りないのではないか。

○事務局：

全体で捉えるのではなく各学年で捉えると、例えば、東小学校の場合、現状の通学区域のままだと、平成29年度には各学年38人から54人程度の予定である。ここで“35人学級”については、1学年35人までは1クラス編成、36人になった時点で2クラス編成、同様に71人になると3クラス編成となるため、各学年70人までは2クラス編成となる。このことから学年にもよるが、最大31人まで1学年の児童数が増えたとしても、同じ2クラス編成のままである。次回、学年を考慮した形の資料も提示したいと思う。

○会長：

今の東小学校の例について、現状のままでも各学年が38人から54人までになりそうだということだが、そうすると全学年2クラス編成になりそうだということか。

○事務局：

現状のままだとその予定である。

○会長：

ここからは、もう考え方の世界だと思うが、皆さんの考えを発言して欲しい。

○委員：

全体の流れが掴めていないが、資料4の丸印内の数字は、これから増える児童数なのか。実際にどのくらい児童が増えるものなのかが気になる。

○事務局：

この丸印内の数字は、平成29年度時点のこの地域における1年生から6年生まで学年に該当する児童数である。これは事務局が参考として線引きをしたものなので、線引きの仕方によって、当然に人数も変わってくることになる。

○委員：

地域住民としては、現在の碧山小学校の通学区域には碧山通りがあって、ネックとなってくる天神山の交差点があるが、そこにも交通擁護の方が立ってくれているので、その点は問題ないと思う。ただ、碧山通りが綺麗に真っ直ぐ通っているの、そこをどうするかが気になる。

○委員：

資料4で示されている東町五丁目の中でも、碧山通りの南側は、碧山小学校の学区域として残して、碧山通りの北側は東小学校に移しても良いと思う。

○委員：

碧山通りの南側だけ残しても、数字としては高が知れているように思う。それだったら、東町五丁目の1画を移した方が良いと思う。

○委員：

なるべく、動かす範囲を少なくした方が良いと思うのが、碧山小学校と東小学校の間の部分を動かせば、碧山小学校と本町小学校の間の部分を動かさなくて良いのか。

○事務局：

試算した訳ではないので、正確なことは言えないが、碧山小学校と本町小学校の間の部分を動かせば、他は動かさなくても大丈夫かもしれないが、碧山小学校と東小学校の間の部分だけを動かしただけでは、明らかに問題は解決しないと思う。

○会長：

今日このことについては決定するのか。了解を欲しいとの話だったが、シミュレーションを出して良いのかということの確認なのか、それともこの協議会として了解して欲しいということなのか。

○事務局：

こういう形でのシミュレーションを次回お示ししたいという段階で、次回どういう形でのシミュレーションを出した方が良いかということを考えていただきたい。

○会長：

シミュレーションについても、幾通りかのものをお示しいただけるものだと考えて

いたがどうなのか。

○事務局：

幾通りかお示ししたいと考えているが、なるべくパターンを分かり易い形でお示ししたいと考えている。

○委員：

碧山小学校と東小学校の間の部分と碧山小学校と本町小学校の間の部分について、片方を先に決めて、その後にもう片方を決めるという考え方はあまり良くないと思う。

○事務局：

それぞれの地域に何パターンも用意すると、それらを合わせて検討していく際に、パターンの数が多くなり過ぎて、検討を進めていくのが難しくなると思う。特に碧山小学校と本町小学校の間の部分の方が、線引きが難しいと思うので、出来れば碧山小学校と東小学校の間の部分についてはパターンの数を少なくしたいと考えている。

○委員：

碧山小学校と本町小学校の間の部分を考えれば、最終的には碧山小学校と東小学校の間の部分は考えなくても大丈夫かもしれないという理解でよろしいか。

○事務局：

試算した訳ではないので正確なことは言えないが、相当数の児童が居るので大丈夫かもしれない。

○委員：

現在、碧山小学校の学区域にある天神山の交差点の安全面についても、碧山小学校と本町小学校の間の部分の見直しを行うことで、児童数に問題がないのであれば、東小学校に移す必要はないということでもいいのか。

○委員：

安全面については、登下校時に交通擁護の方が立ってくれているので大丈夫だと思う。

○委員：

でも、この協議会では、東小学校の児童数も含め、学校間の均等化を図るということも考えなければならないのではないか。

○事務局：

学校のバランス、学校への通学距離、安全面などいろいろな面を総合的に考慮して決めていかなければならない。

○委員：

碧山森の北側は東小学校に近いので、そこを東小学校に移してはどうかと思う。

○事務局：

それを考えることはもちろんできるが、人数的には少ないように思える。

○委員：

通学区域は丁目で分けてあるので、それは崩さない方が良く思う。

○事務局：

道路で区切るというのも一つの方法であり、それで学区域を分けることはできなくはないが、なるべくなら何町何丁目といった丁目単位で振り分けた方が、分かり易く地域性も保たれると思う。

○委員：

現在の通学区域について、地番で分かれているところもあると思うので、それが分かるようにしてあると検討がし易いように思う。

○委員：

新しく通学区域を設定して地域の方々に説明等をする場合に、一番納得してもらえする方法を取った方が良く思う。

○会長：

何か今日決めるような感じになっているように思えるが、事務局としては、次回どのようなシミュレーションを出すつもりなのか。

○委員：

人数も大事なのかもしれないが、学校はやっぱり地域性だと思うので、地図上のパターンをいくつか事務局から出していただきたい。

○事務局：

今提案していただいたパターンを含めて次回お示ししたい。

○委員：

行政側が求めるものは、子どもたちが一つの学校に偏らないで、バランス良く配置したいということだと思うが、地域住民からしてみれば、子どもたちが安心して、安全に通学できることが何より大事だと思うので、白紙でどうこう言ってもあまり見当がつかないので、ある程度大雑把に線引きをして事務局から示してもらった方が分かり易い。

○委員：

地図上、今はそこに家がなくても、後々そこに家が建って人が住んでいるかもしれないし、逆に今は人がたくさん住んでいるかもしれないけど、またいなくなってしまうかもしれない。だからこそ、現在の人数で動くよりは、地図上の線引きの方が大事

だと思ふ。

○事務局：

今、皆さんからいくつか意見・提案等をいただいたので、それも考慮した上で、次回いくつかのシミュレーションをお示ししたいと思ふ。そして、実際にそのシミュレーションを見ていただいて、こうするとこれだけ影響が出るということが実際に見えてくれば、皆さんももう少し具体的なイメージが見えてくると思ふので、よろしくお願ひしたい。また、地域性の問題についてもいろいろとあると思ふが、新しい通学区域となれば、またそこから新しく地域が形成されていくことも期待されると考えている。

議題5 次回の開催日程

○会長：

日程調整の結果、第3回の開催日時は、10月27日（木曜日）の午前10時から正午頃までとし、本町小学校で開催したいと思ふので、出席をお願ひしたい。

○事務局：

本日、机上配布したアンケート（意見・質問等）シートについて、8月31日までに事務局宛に返送していただくようお願ひする。

議題6 閉会